

心理・教育実践学専修

小学校
コース

子どもの成長と教育実践の 事実寄り添いながら、 未来への可能性を語り合う

教育問題は、国民全体の関心事です。学校では、日々新たな課題が提起される一方、豊かな教育実践が蓄積されています。今、学校には、学級崩壊、いじめ、学習意欲の低下など、深刻な状況に置かれている子どもたちがいます。私たちの研究は、こういった現代の学校における教育実践のありかた、子ども同士の関わり合い、人間としての発達を見据えながら行われています。

本専修における学生たちの学習と研究は、子どもを理解し、子どもの成長に寄り添い、教育現場の事実と対話することを通して行われていきます。たとえば、学校にでかけて、教師と子どもが作り出す教育実践の豊かな様相を見つめながら、教育実践の在り方について考えていきます。そして、子どもの発達、学習、人間関係や社会関係、人間形成など様々な側面から子ども理解を深めていきます。

心理・教育実践学専修は、教育心理カウンセリング専修と学校教育臨床専修を統合し、2015年度に誕生した専修です。本専修では、日々、生成される教育の実際に参加しながら、子どもの理解への新たな在り方について追究することができます。あなたも、私たちの、私たちがつながる教育現場と子どもの革新的な実践と研究の「学びの道づれ」になりませんか。



学校教育課題の見取り図を考える演習へ



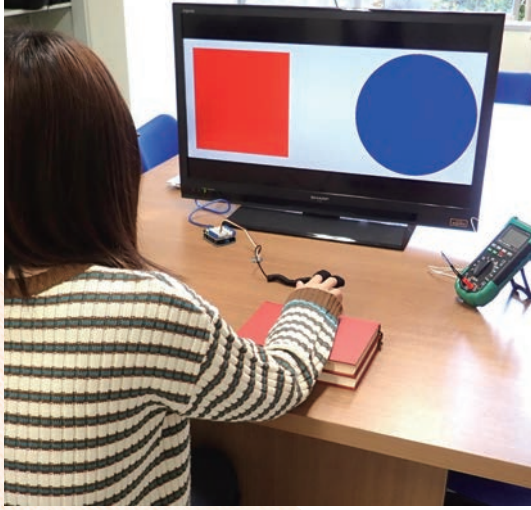
心理学実験

専任教員

堀田 香織	臨床心理学 家族と学校
萩生田伸子	心理データ解析 教育評価
中井 大介	発達心理学 学校心理学
船橋 一男	生活指導 子ども研究
岩川 直樹	学習臨床 人権教育
宇佐見香代	生活科・総合学習
磯田三津子	教材開発 多文化教育
野村 泰朗	教育工学 情報教育

主な授業科目

発達心理学概論、心理カウンセリング実習、カウンセリング概論 他
教育における臨床の知、教材づくりと授業展開、学校・地域とカリ
キュラム編成、教師の成長と教師教育、メディアと学習支援 他



卒論の実験準備



教職実践演習での模擬保護者会



南三陸町の中学校で出前授業



箱庭の人形・玩具



卒業論文発表会



仲間と創る模擬授業

こんな授業 こんな研究

萩生田 伸子 准教授

他の自然科学の分野と同様に、心理学でも研究を行う際にはデータを集めて分析をし、結果を解釈し、証拠に基づいた議論を進めることが必要となります。心理学の場合、データの収集方法は実験、アンケート調査、学力検査、パーソナリティテスト、観察、面接など多岐にわたるのですが、それらの幾つかは心理学実験関連科目で実習を通して学びます。データの分析に関しては回帰分析、因子分析、クラスター分析といった多変量解析を学ぶ教育評価特講などが開講されています。適切なアンケート調査を設計し、分析・解釈・理論的に説明する技術は教員になった場合はもちろん、一般企業に就職した場合でも仕事に活かせる範囲が広いので、しっかり身につけて欲しい事柄の一つです。



データの分析という点では様々なものが関わってきます。
実験群(上)と統制群(下)

こんな授業 こんな研究

磯田 三津子 准教授

教育実践学について、私は、小・中・高等学校の日々の実践と寄り添いながら、そこで起こっている様々な出来事から学ぶこと、そして更にそれを理論化していることであると考えています。

私の研究の一つは、在日外国人児童生徒教育です。具体的には、外国につながる子どもたちと日本の子どもたちが仲良く、一緒にたくさんのことを学べる学校環境づくりについての研究です。そのためのヒントは、教育理論の本の中にあるかもしれませんが、しかし、私は、その重要な手がかりについて、いろいろなクラスを参観し、先生や子どもたちのことばや姿から学ぶことができると考えています。教育実践学は、様々な教育実践の実際に関わり、豊かな教育の在り方について自分なりのイメージをつくっていくことができる学問なのです。



3年生
藤永 さつき

教育実践学系では、現在の教育の課題や学校教育の現状について、実際に現場で行われている実践に注目して学び、子どもたちにとって学校はどのような場所であるべきなのか、また教師はその実現のためにどのようなことができるのかについて研究します。「実際の現場の実践」と「研究」の両面から「教育」について見詰め、子どもたちの「学び」の在り方について考える専修です。

私は現在、ゼミで学級経営と授業の関係性についての実践例を基に、より良い学級をつくるにはどうすればよいのか、自分の育てたい子ども像や学級像とはどのようなものかについて話し合い、学んでいます。意見を交わし合う中で自分にはなかった視点に気付くことができ、さらに新しい学びへと広がっていると感じています。みなさんも、学校現場に一步近づいた視点から自身の教育に対する考えを深める学びをしてみませんか？



3年生
堀井 晴日

心理・教育実践学専修の心理系では、2年次にさまざまな実験方法を通して広く心理学の概要を学び、3年次でゼミに所属し、卒論に向けて自分の興味のある分野の研究を行う練習をします。私は不登校問題について関心があり、学校心理学を専門としている先生のゼミに所属しました。現在は「心理カウンセリング実習」という授業の一貫で週に一度定時制高校に実習に行き、座学の授業を超えた学びを体験しています。